

しあわせ家族計画 字幕

Chapter8: Three days to go

富士夫 : おはようございます

優子 : 林さん、いつまで雑誌読んでんの
しまいなさい

林 : すいません

優子 : そこ終わったらさ、表、掃いてちょうだい¹

恒子 : お茶でも飲むかい
まったくねえ

この分じゃ²、借りたお金もなかなか返せそうにないね

優子 : 出前でも始めようかな

恒子 : 何言ってるの

運転もできないくせに³

優子 : それぐらいやらせるわよ、家のやどろくに

恒子 : 夕べ帰って来なかったじゃないの、やどろくは

優子 : まったくもう、本当に

何考えてんだか⁴

まったくもう

優子 : 何やってんの

お父さんは

あなた

酒くさっ

どういつもりよ、お酒なんか飲んで

富士夫 : あんまり大声、出さないでくれ

優子 : あなたね、自分が今どういう立場なのか分かってんの

富士夫 : ごめん、ごめん

優子 : どういう神経だと朝帰りなんかできるのよ

あたし達家族にとってね、今、一番大変な時なのよ

それもピアノの練習も、ピアノの練習も、ほっぽり出して⁵

富士夫 : ええ、今、ね、や、やろうと思ってたとこだよ

ゆうこ
優子

うそ
嘘つき
よう
要するにね、あなたには、かぞく たい あいじょう
家族に対する愛情がないのよ
だからへいき かお ね
平気な顔して寝てられんのよ⁶
む せきにん
無責任よ
どうしてすこ
少しでも、みんなのためにがんばろうっておもえないのよ

ふじお
富士夫

おも
: いやおも、おも、思っているさ

ゆうこ
優子

おも
: 思っているだけダメ

こんじょう
そんな根性なしだから⁷、かいしゃ
会社だってクビになるのよ
にようぼう じっか せ わ だんご まる
女房の実家に世話なって、団子ひとつ丸められないで
おまけに⁸200万、お
落っこしたりするのよ⁹
いい

いま たち かぞく
あんたが、今あたし達家族のためにできること
こと い
事と言ったら、テレビに出て、
300万
まん こと
取る事だけなのよ

ちちおやしっかく
それができなきゃね¹⁰、父親失格
にんげんしっかく
人間失格なの

ようこ
陽子

: やめて

い
むちゃくちゃ言わないで

とう
お父さんがかわいそうだよ

もともと むり
元々無理なのよ、ピアノなんて

とう
お父さんだって一生懸命やってるわよ

とう
だけどお父さんがぶきっちゃよで運動神経ゼロなの、お母さんだってよく知って
かあ
るじゃない

れんしゅう むり
いくら練習したってピアノなんて無理なのよ

かあ かって
お母さん、勝手だよ¹¹

ゆうこ
優子

なま い き こと い まえ がっこう い
: 生意気な事を言う前に、あんたは学校行きなさい

ふじお
富士夫

ゆうこ
: 優子

かあ
お母さんな、つい言っちゃただけで、わる ぎ
わる
悪気はないんだよ

ゆうべ さけ の い とう わる
昨夜、あの、お酒なんか飲みに行っちゃったお父さんが悪いんだから

いま れんしゅう
今からちゃんと、練習するから

ようこ
陽子

とう ふう
: なんでお父さんがそんな風におどおどするの¹²

いや い
ピアノなんか嫌だって、できないって言えばいいじゃない

こ かあ たち かおいろ み
ここに越してきてから、お母さんやあたし達の顔色見てばかり¹³

わる
カッコ悪いよ

とう きら
お父さんなんか嫌い

富士夫 ^{ふじお} : ごめんな
陽子 ^{ようこ} : あたしがアメリカ行きたいなんて言ったから
富士夫 ^{ふじお} : 違うよ
 ^{うれ}
 だけど、ちょっと嬉しかったな
 ^{ようこ}
 陽子が、あんなふう^ににピアノの^{こと}事をかばってくれるなんて
陽子 ^{ようこ} : 本当はあたしもちょっと期待してたんだけどね
富士夫 ^{ふじお} : えっ
陽子 ^{ようこ} : アメリカ^{りょこう}旅行
 ^{えいご} ^{つう}
 あたしの英語、通じるかな、なんてね

喜美子 ^{きみこ} : なあに、やってんの、あなた¹⁴
 ^き
 聞いたわよ、うちの人^{ひと}から¹⁵
 ^で
 テレビ出んだって¹⁶

富士夫 ^{ふじお} : ええ
喜美子 ^{きみこ} : もう1回、弾いてよ
 ^{いつかい} ^ひ
 ^{ひろせ}
富士夫 ^{ふじお} : 広瀬さんの
喜美子 ^{きみこ} : そうよ
 ^{いつかい} ^ひ
 もう1回、弾いてよ
富士夫 ^{ふじお} : このあいだは、どうも
喜美子 ^{きみこ} : いいえ

店員1 ^{てんいん} : じゃ、すいません
 ^{さき} ^{しつれい}
 お先に失礼します
優子 ^{ゆうこ} : お疲れ様
 ^{つか} ^{さま}
店員2 ^{てんいん} : おやすみなさい
優子 ^{ゆうこ} : あっ、ちょ、ちょっと待って
 ^ま
店員1 ^{てんいん} : いいですって
優子 ^{ゆうこ} : 同じので悪いんだけどさ
 ^{おな} ^{わる}
 ^{さむ}
 寒いじゃん、だから、あったまるから¹⁷、ね
店員2 ^{てんいん} : ごちそうになります
優子 ^{ゆうこ} : ご苦労様でした
 ^{くろうさま}
 おやすみなさい
 ^{あした} ^き
 明日も来てよ

てんいん
店員2
ゆうこ
優子

: いいんですか
: ちょっと、ほんとに^き来てよ、ちょっと
おやすみなさい

しながわ
品川
ゆうこ
優子
しながわ
品川
ゆうこ
優子

: 川尻君の、奥^{おく}さまでいらっしゃいますでしょうか
: そうですけど
: 以前^{いぜん}、会社^{かいしゃ}で机^{つくえ}を並べておりました¹⁸、品川^{しながわ}と申^{もう}します

: まあ、どうも
いつもお世話^{せわ}になっています
どうぞ、中入^{なかはい}ってください
あの、今^{いま}、外^{がい}出^{しゅつ}してるんですけど、すぐ戻^{もど}りますから
奥^{おく}さまも、どうぞどうぞ
あの、散^ちらかってますけども¹⁹、あの、お茶^{ちゃ}、お出^だししますから
あの、今^{きょう}、どら焼^やきぐらいしかないんですけど
あっ、ビール^{ほう}の方がいいですかね

しながわ
品川

: うるさい
失^{しつれい}礼^{れい}しました
実は^{じつ}、新^{しん}会社^{がいは}を設^{せつ}立^{りつ}すると称^{しょう}して、私^{わたし}は川尻君^{かわじりくん}から、夜逃^{よに}げのためのお金^{かね}を、
だまし取^とろうとしました

ゆうこ
優子
しながわ
品川

: へえっ
: あっ、で、あのう、でも、やっぱり、自分^{じぶん}にはできなくて、川尻君^{かわじりくん}に、洗^{あら}いざ
らい話^{はな}したんです
そうしたら、川尻君^{かわじりくん}は、私^{わたし}を、なじるどころか²⁰、なんとか、頑張^{がんば}ってほし
いと、いやあ、奥^{おく}さんね、200万^{まん}のお金^{かね}を、そっと私^{わたし}に渡^{わた}してくれたんです
よ

ゆうこ
優子
しながわ
品川

: 200万^{まん}を
: あれから私^{わたし}は、なんとか仕事^{しごと}も見^みつけました
ほんの少^{すこ}しずつですが、川尻君^{かわじりくん}には必^{かなら}ずお金^{かね}を返^{かえ}します
そうお伝^{つた}えしていただけますか
あっ、それで、今^{きょう}日は、2万^{まん}しかありませんが
川尻君^{かわじりくん}のおかげで、なんとかまともにやっ²¹ていく決^{けつ}心^{しん}が、ついたんです²²
なんとお礼^{れい}を言^いっていいか
本^{ほん}当^{とう}にありがとうございました

ゆうこ
優子
しながわ
品川

: 落^おとしたんじゃなかったのね
: は

きみこ
喜美子 : はい、これ持^もって
ゆび あたた
指、温^{あたた}めて

ふじお
富士夫 : どこ行^いくんですか

きみこ
喜美子 : いいから、ほら

ゆうこ
優子 : よしたろう
由太郎
ようこ
陽子
い
行くわよ